

2022年12月9日 第3411回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
- <斉唱> 「我等の生業」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
- <ゲスト紹介> *米山奨学生 王 冠博様
- <奨学金授与式> *米山奨学生 王 冠博様
- <会長報告> *国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更のお知らせ
12月1日より 1ドル138円 (現行148円)
*ガバナー事務所より
・青森県津軽地方豪雨災害支援金のお礼と報告について
・青少年交換 派遣候補生オリエンテーションのご案内について
2023年1月7日 (土) 14:30-16:00 オリエンテーション
16:00-17:00 派遣候補生・保護者向け相談会
於：第一相澤ビル6F「会議室」
- <委員長報告> *職業奉仕委員会 八木委員長より職場体験学習について
(1月25・26日のうち半日 1~2名でも可)
12月14日 (水) 10:30~ガイダンス 田中会員
申し込みは1月15日まで
*親睦委員会 椿委員長より年忘れ家族会について
現在75名参加予定。景品受付中なので積極的に提供をお願いします。
*会員増強委員会 前田会長より
12月16日はオープン例会、現在4名参加予定。
- <幹事報告> *西RC、北RCから週報受領
- <出席報告> *出席委員会 加藤 備 委員より12月9日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	103名	65名(9名)	38名	8名	70.87%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 王 冠博さん、佐久間会員、前田会長、椿会員、小野(健)会員、瀬戸幹事と来日された王さんのご両親をお話しができて、大変良かったです。これからも勉学に励んでください。
- ・八 巻、前 川、澤 田、高 橋、植 田、佐久間、齋藤 備 各会員
米山奨学生、王 冠博様、本日もようこそお越し下さいました。国家試験合格に向け勉強にがんばってください。
- ・澤 田 会員 入会月祝いとして
- ・梁 井、椿、大野 備、松本 剛、長谷川、岡田 健、大 石、福 西、木 村、比 護、八 巻、Loknath、前 川、畑、小 平、澤 田、中村 備、浅 葉、野 坂、勝 間、小林 備、高 橋、植 田、杉 浦、佐久間、小山 健、齋藤 備、藤 村、北 村、田 邊、角 井、兼 城 各会員
南会員、石田会員、本日は急遽の変更にも関わらず快くお受けいただき有難うございます。新会員卓話どうぞ宜しくお願いします。
- ・南 会 員 新会員卓話よろしくお祈りします。Wゆ一きで頑張ります。
- ・石 田 会 員 本日、新会員卓話させて頂きます。ピンチヒッターがんばります！
- ・飯塚1番テーブルマスター 先日の1番テーブルミーティングにご参加ありがとうございました。
会長、幹事、SAAもお忙しい中ご参加頂き感謝いたします。
- ・前 田、八 木、勝 間、岡田 健、兼 城 各会員 12月7日、1番テーブルミーティングを甲羅で開催いたしました。美味しいお料理とお酒を堪能し楽しいひと時でした。飯塚マスター、杵淵サブマスター有難うございました。小沢会員には、お土産のチーズケーキもいただ

き大変お世話になりました。

・加藤 備、澤 田、高 橋、笠 木、上 林、徳 永 各会員

サッカーW杯、日本代表感動をありがとう！ 12月13日はボクシング、井上尚弥VS
ポールバトラーの世界4団体王座統一戦があります。歴史的一戦はネットTVのみの放
送です。井上選手のKO勝利が観たい！

<新会員卓話 1>

南 裕 貴 会員

皆さん、こんにちは。明治安田生命横須賀営業部の南と申します。前任の川出はロープレも行い卓話に臨みましたが、私はそこまで準備ができなかったので本日は自己紹介と会社の取り組みをご紹介します。私は昭和62年1月生まれ35歳です。来年卯年で年男ですので、ウサギのように飛び跳ねる一年にしたいと思っています。妻と3歳の息子と3人で暮らしており、来年5月に二人目が生まれる予定です。

私は富山出身です。富山は北陸新幹線が開通したことに伴って観光客が増えている印象があります。久しぶりに富山に行ったところ自分が知っている景色が全然ないことに驚きました。富山といえば魚、今の時期は寒ブリが有名です。私の祖母の家が氷見漁港のそばで、小さな頃から、当時はブランド化していなかったので味も価値もわからないままブリを食べていました。私の弟はおやつ代わりにブリをしゃぶっていたというくらい日常的にあったのですが、今はものすごく高騰してしまって、あのブリがこんなにブランド化してうれしい反面すぐに食べられないのが残念です。あと、富山県出身というとよくお寿司がおいしい、どこのお寿司屋さんがおいしいかと訊かれます。おいしいお寿司屋さんはいっぱいあるのですが、地元回転ずしが一番おいしいと思います。ぜひ地元回転ずしに入ってみてください。

私は小学校の時はサッカーをやっていました。今ワールドカップを見て毎日寝不足で生活しています。中学では近所の先輩に引っ張られバレー部に入りました。セッターというトスを上げるポジションをやりました。メンバーに恵まれ、最終的には中学3年の時に富山県で優勝し富山県選抜にも選ばれました。選抜では補欠だったのでピンチサーバーとしてしか出場できなかったのですが、結局サーブミスして交代させられて終わるというちょっと苦い思い出があります。北信越でベスト4まで行くことができたのですが、最後に負けてしまったのが清水邦広という選手のいたチームでした。清水選手は通称ゴリといわれていて、本当にゴリゴリなんですね。中学生にもかかわらずすごい体格でした。その選手のいたチームに負けてベスト4で終わりました。

高校ではバレー部が潰れてしまっていたのでバスケットをやり、金沢大学に進学してバレーボールを再度やりました。大学の4年間は浴びるようにお酒を飲んで、たまに大学に行くという生活でした。米山奨学生の王さんとは真逆の生活です(笑)。全国に散り散りになった当時の仲間とは今もリモート飲みを交えて家族ぐるみの付き合いを続けています。



その後明治安田生命に入社し、まず富山県で1年半、本社、名古屋、諏訪と勤務し、2014年の10月27歳の時に初めての営業所長として安曇野にいきました。私は安曇野という地名を知らなかったので絶望してしまいましたが、リンゴとワサビがすごく有名で、すごく楽しい営業所長職を経験しました。その後岐阜の西濃で3年半経験してから川出の後任として横須賀に着任しました。当社は稚内から沖縄まで全国に営業拠点があり、全国どこに行くにわからない反面、多くの方と出会うことができ、中には長いお付き合いをさせていただく方もいらっしゃいます。初めて営業所長をした安曇野の営業所の職員は地域柄実家がリンゴ栽培などの農家さんが多く、リンゴや野沢菜が送られてきたり、使い方に困るんですがワサビが大量に送られてきたりします。先日は岐阜のお客様が横須賀に遊びに来るといって軍港巡りをさせていただいたりしました。長くお付き合いさせていただくのはすごく嬉しいことですし、こういった場に立たせていただけることでもこの仕事をやっていると実感しています。



さて、ここから明治安田生命の取り組みを少し紹介させていただきます。当社は「人に健康を、町に元気を」というキャッチフレーズで取り組んでいます。生命保険はお客様が万一亡くなられたり入院したり重い病気に罹患されたときに保険金や給付金とかでお役に立てるものですが、当社はそもそもその状態にならないように健康な状態を維持するお手伝いをさせていただくことに注力しています。加えて地域のお客様との密着というところに力を入れており、具体的にはJリーグのタイトルパートナーとしてJ1からJ3、57チームとタッグを組んで盛り上げを図っています。当社の新横浜支社はマリノス、私の所属する横浜支社は松井大輔元日本代表が所属するJ3のYSCCとコラボしています。小学生を対象としたサッカー教室などのイベントも開催しています。また市町村と提携し地域の方々の健康寿命を延ばすため健康診断を受けましょうという啓発活動やがん検診の受診率向上の取り組みも行っています。当社のキャッチフレーズの根底にあるものは地域に根差した生命保険会社を目指したいという思いがあるからです。私のような管理職は転職があるのですが、営業職員はほとんど地元出身なので地元への愛着がある。だからこそもっと地元のことを学んで地域の活性化に貢献していきたい、そんな保険会社を目指したいと取り組んでいます。

横須賀営業部でもやらせていただいているのが横須賀野菜の普及活動です。実は私が転職するときに妻から横須賀に何があるのと訊かれ、米軍・自衛隊・海軍カレーしか思いつかなかったのですが、実は横須賀野菜というブランドで売り出しているものがあると知りました。市の担当者や市議会のほうでも売り出したいという思いはあるもののなかなかPRできずにいたので、当社がお手伝いをさせていただいています。毎月第3火曜日に横須賀市役所で出張市をやっています。加えて地元の町内会など各種イベントで出張市をやっていて、来年度はお料理教室やコンテスト等を企画できれば面白いと思っています。

私自身転職がある仕事ですが、ロータリーという貴重な場に参加させていただいていることは必ず自分の経験に生きると思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどお願いします。本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

<新会員卓話 2>

石田裕樹 会員

皆さん、こんにちは。石田裕樹です。今年5月に入会させていただきました。1982年7月7日生まれのA型蟹座です。母方の故郷である神奈川県真鶴町で生まれ、酒匂で5歳まで過ごしました。酒匂は年2日間の国立印刷局の桜覧会が有名です。その後父の電気工事店開業に伴い平塚に転居し中学生まで過ごし、県立大磯高校から関東学院大学工学部建築学科に進学しました。

実はこの建築学科で初めてに近い挫折を味わいました。建築学科というのは芸術性の高い学科で、みんな絵がうまい。1、2年生の時に美術のような授業があるのですが、私は絵がめちゃくちゃ下手で、本当に建築士としてやっていけるか心配になりました。建築士としての仕事を真剣に考えたとき、1つだけ得意な授業がありました。それが構造力学です。早く言うと物理です。例えば地震が起こった時に建物がどういう力が加わってどこが壊れるか、そういう解析をしたりするのが得意でして、構造系のゼミに進みました。ところが、大学3年の時にインターンに行った構造事務所が、めちゃくちゃつまらなかったのです。なぜかとい

うと私は人と話すことが大好きなのです。しかし構造事務所というのは打ち合わせがほとんどありません。大手ゼネコンと仕事をしていましたが、こんな設計で建物が建つと思ってんのか！という声を約1か月聞きながらこんなところではちょっと働けないなと思い、教授に相談したところ住宅メーカーに自由に設計も営業もできるようなところがあるとセキスイハイムさんを紹介され、お世話になることになりました。

ただここでも一度失敗をしました。当時我々の試験は3年生の10月から一次から四次までの面接があり、三次が一番大事な部長面接でした。私の三次面接官が当時の営業本部長、のちに社長になった方の面接でしたが、時間を間違えて遅刻しました。明らかに自分のミスで30分遅れて行ったのです。その時は担当の方に「今日は帰ってください。後日もう一度面接します。」と言われました。もう一度あるにしてもこんな大事な面接をすっばかすやつは受からないだろうと思いながら、再度本部長の面接に行きました。30分説教をされました。中身はなく、こちらを見るわけでもなく、窓の方を向いて30分説教されて、ああこれはご縁がないなと思いながら帰る電車に乗りました。電車を降りてすぐ人事の方から合格の電話があり、四次面接を経て入社することになりました。

そんな中でこれまでいろいろな人とこれまで出会ってまいりましたが、人生で一番分岐点になったのが、この人だと思えます。ご存じの方も多いと思うのですが石田重蔵です。私の義理の父になるのですが、平成7年に横須賀ロータリーに入会させていただいて、昨年亡くなるまで26年間本当に横須賀ロータリーの方々にはお世話になりました。初めて会ったのは大学2年20歳の頃、友達のお父さんとして現れたのがこの人です。見た目はめちゃくちゃ怖かったですが、物腰が柔らかくて、私のことをずっと旧姓である藤田さんと呼んでいました。それから義理の父になるまでの間にいろんなことを話してもらい、おいしいものを食べに行かせてもらいました。あの中華料理を食べに行こうと香港に行ったり、カニを食べに福井に行ったり、おいしい寿司屋があるので富山に行ったり。ただ結婚の理由はそれではないです。義父からは当時は「せっかくだと勤めているのだからこっちに来なくてもいいぞ。」と言われていました。しかし、義父の語る横須賀の未来、特にその街づくりについていろいろな話をする中で、一緒にやりたいという気持ちが芽生えてきました。そして最後に1回義父から「一緒にやらないか。」と言ってもらいました。本当にうれしくて、ちょうど異動だったので結婚と同時に横須賀の地に足をつけて一緒にやりたいとお願いしました。ゴルフ仲間であった部長に辞めるということが言いつらくて、とりあえず結婚しますという報告をして「おめでとう！」と言われて、すぐ寿「退社させていただきます。」と続け「ふざけんな！」と言われました。横須賀に来てようやく15年経ちました。まだまだ不慣れなところもありますが何とか義父の想いをつなげていきたいと思えます。

ここから少し真面目な話をします。こちらは北九州市小倉にあります商店街ですが、日本で初めてのアーケード商店街と呼ばれているところです。小倉は鉄鋼で栄えましたがだんだんと人が減っていく中で、60年経った時にどうしようかと検討しています。まさに横須賀中央の商店街も建て替えを考えているところですので、まずこの小倉の例を紹介します。小倉の魚町銀天街ではちょうど60年経った2010年頃よりリノベーション街づくりを開始し、使われていない建物がリノベーションされ、若き起業家やクリエイターたち、学生たちの集まる拠点などに生まれ変わりました。開始2年ほどで新たな雇用が200人以上生まれ、通りを行き交う人の数も上昇しました。また近年で商店街再生に成功したといわれる事例は「高松丸亀商店街」ではないでしょうか。この事業では、全長470mの商店街をA～Gの7つの「街区」にゾーニングし、規模を縮小しながらも進んでいます。

横須賀中央は6地区で再開発の流れがあります。一番新しいところではプライムの街区が認可を受け本組合となりました。これを機に他の地区も機運が高まって進めばいいと思えます。本当にこれは義父が目指した街づくりの一つですので、しっかり頑張っていきたいと思えます。横須賀ロータリーの皆様にはこれからもご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。ありがとうございます。

<閉会・点鐘> 13:30 前田会長

週報担当 上田博隆